

## 一般質問

■通学路の安全確保について

## 通学路の早期着工を！

**徳田議員** 七尾中学校の通学路について、危険な箇所がいくつもあり、その一つの市道徳田18号線はいつごろ完成するのか。その他の道路について進捗状況はどうなっているのか。できる箇所から早急に着工していただきたい。市道徳田2号線沿いについても、大きな事故が起きる前に工事していただきたい。

**粟津建設部長** 市道徳田18号線は、平成25年度から下町八幡町間の約2キロで事業を進め、現在は用地取得を進めており、完成は平成30年代後半を目標としている。できる箇所からの着工については、現在まとまった用地取得ができていないため、一部着工はできない状況。少しでも整備効果を発揮させるためにも、用地の取得状況を踏まえながら、順次部分的に開通できるように工事を進めていきたい。市道徳田2号線の通学路については、並行する市道徳田303号線道路改良工事を現在行っており、一部用地取得が難航しているため、引き続き用地取得を進め、早期供用に努めたい。その他の道路も含め、七尾市としては総合計画をもとに、各小中学校の通学路安全プログラムを踏まえ、限られた財源のなかで、交付金事業などを充てて順次事業を進め、安心安全な道づくりを目指していることである。



徳田 正則 議員  
(新公会)



七尾中学校

【その他の質問項目】  
■御蔵川拡幅 ■都市計画税  
■コミュニティセンター

## 一般質問

■放課後児童クラブの拡充について

## 放課後児童クラブの利用拡充を！

**伊藤議員** ①放課後児童クラブに対し、施設整備費や運営費補助基準額の増額はされるのか。②放課後児童クラブの支援員に対する処遇改善は実施されているのか。③障害児を受け入れできる放課後児童クラブを増設する予定はあるのか。④小学校の統廃合により一部の校区で放課後児童クラブが2箇所になるが、認可と条例について見直しをするのか。

**津田健康福祉部長** ①国の制度拡充を鑑みながら、委託料に係る人件費の基準額や障害児受け入れによる加算額など、要綱の見直しを検討していく。②処遇改善においても今後、各放課後児童クラブの支援員の賃金の現状を調査・把握して対応する。③平成26年12月以降、新たに3事業所が市内に開設され、4事業が増え、定員は8人から38人に拡大している。サービス拡充に伴い、利用者も増えている。施設整備の申請は石川県が行うため、申請の際には現状を踏まえた意見を石川県に述べていきたい。④小学校の統廃合により、放課後児童クラブについては、児童や保護者の利便性を考慮して、当分の間は統合前の小学校区内にも存続する予定である。クラブ全体の今後のあり方としては、設置条例を見直し、また社会福祉法人が運営する4クラブについても新たに委託する方向で検討している。

【その他の質問項目】  
■朝日小学校の安全対策と拡充  
■歴史博物館の完成  
■地域を生かした教育環境パワーアップ事業



伊藤 厚子 議員  
(無会派)



市内の放課後児童クラブ

## 一般質問

■観光振興について

## 観光業界の活性化に繋がる取り組みに！

**高橋議員** 七尾市では、今年度、七尾版DMOの設立を目指しているが、現状と今後の予定はどのようになっているのか。そして、どのような組織で運営をしていくのか。また、DMOが設立されれば、既存の観光協会はどのような役割が求められるのか。

**不嶋市長** 七尾市と中能登町からなる地域連携DMOの観光地域づくりについて協議を重ね、11月22日に設立準備会を開催し、「一般社団法人七尾中能登DMO」と定め、役員や定款、事務所所在地など一通り合意形成した。そして、事務局への設立登記も行い、組織をしっかりとサポートする事務局体制、活動資金の調達、行政からの理事を送り込むための人事など検討していく。今後は、観光庁に日本版DMOの登録申請を行い、名実ともに地域の観光資源を生かす、観光戦略を練り上げて実践する組織になるよう育てていきたい。また、既存の観光協会は、それぞれ自分たちの独自性を持ち続けたいのとこともあり、それぞれの特徴や強みなどを生かしながら、DMOがかけ取りをしていくのが現実的と考える。縦系は各観光協会、横系はDMOとなり、中能登とも手を繋いだことで織りなす能登上布のような強くてたくましい、そしてきれいな組織となるよう、地域の魅力を発信できるような組織を期待する。

【その他の質問項目】  
■子育て支援  
■地域づくり支援



高橋 正浩 議員  
(礎)



事務所が入る予定の和倉温泉観光会館